

ニュースリリース

報道関係者各位

2025年3月19日

株式会社フォーラムエンジニアリング

エンジニア採用のフォーラムエンジニアリング インドの新卒学生と日本企業をつなぐ取り組み 「WORK IN JAPAN」を開始

株式会社フォーラムエンジニアリング（東京都港区、代表取締役兼社長執行役員：佐藤 勉、以下「当社」）は、機械・電気系エンジニア、IT エンジニアとして日本への就職を希望するインドの新卒学生と日本の企業をつなぐ取り組み「WORK IN JAPAN」を 2025 年 3 月から開始いたします。

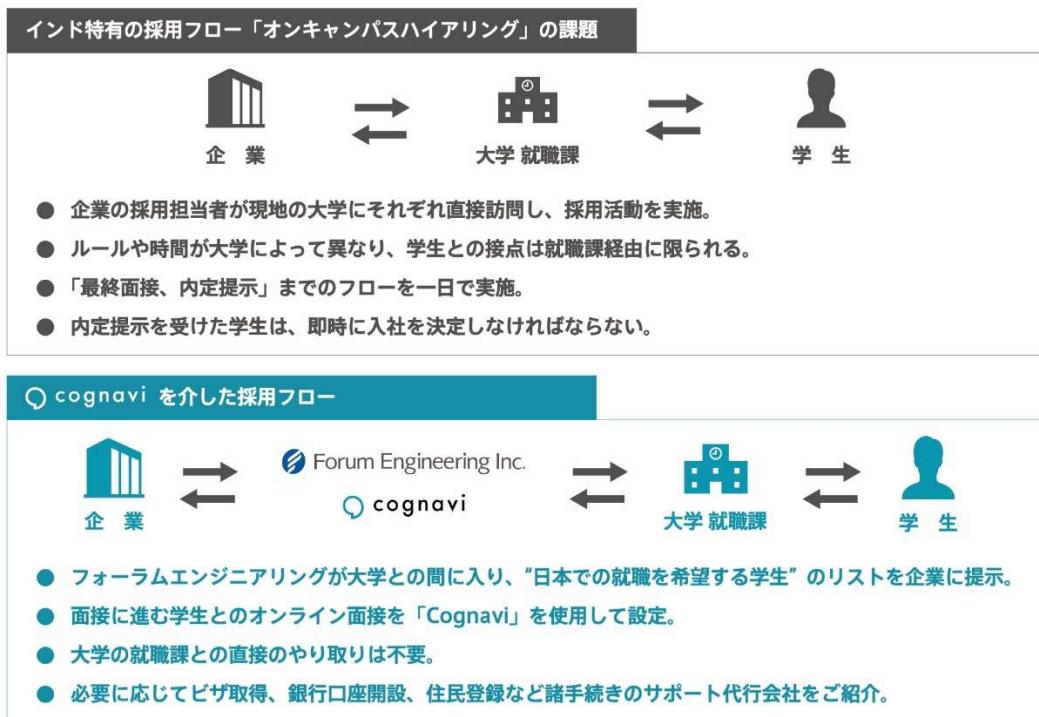
「WORK IN JAPAN」は、当社インド子会社 Cognavi India Private Limited（以下「コグナビインディア」）が運営する新卒向け就職支援サービス「Cognavi」を活用し、インドで日本語を学び日本での就職を希望している学生と、優秀なインド人学生の採用を望んでいる日本企業をつなぐことを目的にしています*1。

日本では少子高齢化に伴う労働人口の減少により、機械・電気系エンジニアの数が不足しています。日本における労働需給シミュレーションによると、5 年後の 2030 年には 340 万人、10 年後の 2035 年には、1,100 万人の労働人口が不足するとされています*2。一方で、インドでは理工系学問を専攻する学生の数に対して就職先企業の数が少なく、希望する進路を選択できない学生が多い状況です。

多くの優秀な人材を輩出しているインドは、世界中の企業から注目を集めていますが、就職活動のインフラが整備されておらず、学生と企業の橋渡しを大学の就職課が行っています。そのため、インド学生の採用を希望する企業は、一般的にはオンキャンパスハイアーリング*3 を行い、大学の就職課との調整が必要になります。

「WORK IN JAPAN」では、コグナビインディアの新卒向け就職支援サービス「Cognavi」を活用することで、インド学生と日本の企業が大学の就職課を介することなく直接接点を持つことができます。「Cognavi」には 62 大学 21 万人のインド学生会員が登録しており*4、そのうち日本語を学んでいる学生や日本での就職を希望する学生のデータを保有しています。また「Cognavi」は、インド政府教育省によって毎年発表されるインド国内の高等教育機関ランキング「National Institutional Ranking Framework (以下「NIRF」)」にランクインする SRM University, Andhra Pradesh や KL University、インド工科大学デリー校・マドラス校・ボンベイ校など、多数の難関大学で導入されています。「WORK

「WORK IN JAPAN」を利用して日本企業は、「Cognavi」に登録されている情報を活用しながら、現地の大学に出向くことなくワンプラットフォームで学生を採用することができます*5。



▲インドにおける一般的な採用フロー（上）と「WORK IN JAPAN」による採用フロー（下）

2024年に実施したサービステストでは「Cognavi」に登録し、かつ日本での就職を希望する学生100名の中から理工系学生6名の日本企業への就職が決まりました。就職が決まった学生は2024年11月に来日し、各企業に入社して活躍しています。

「WORK IN JAPAN」では、希望する企業に対して、採用が決まったインド人学生のビザ取得や銀行口座開設、住民登録など諸手続きの支援をする外部企業の紹介が可能です。また、日本語教育サポートシステムの提供、日本における就業カルチャー研修の提供などを通じて円滑な就業開始のためのサポートおよびフォローも行います。

当社とコグナビインディアは、今後も日本とインドの企業や大学をつなげる取り組みをさらに強化してまいります。

*1 日本企業に対する有料職業紹介事業は株式会社フォーラムエンジニアリングが行います。

そのため、インド人学生の採用にあたってはフォーラムエンジニアリングとの契約が必要になります。

*2 「リクルートワークス研究所 Works Report 2023」より

*3 大学キャンパス内における採用活動のこと

*4 2025年1月現在

*5 現地訪問を希望する企業へのサポートもあり

<フォーラムエンジニアリングについて>

フォーラムエンジニアリングは、国内大手メーカーを中心とした機電系エンジニア派遣を基軸に、新卒学生の就職支援、経験者の転職支援、企業研修の4つのサービスを通じて、機電系エンジニアのキャリアをサポートしています。

日本では就労人口減少に伴う人材不足が深刻化していますが、機電系エンジニアも例外ではありません。当社では、AI（人工知能）を活用した独自システム「コグナビ」により、エンジニアや学生が持つスキルと企業が求めるスキルをマッチングさせることで、機電系エンジニアの新たなキャリアの創出や企業の人材不足解消に寄与しています。

会社名	株式会社フォーラムエンジニアリング / Forum Engineering Inc.
代表取締役兼社長執行役員	佐藤 勉
所在地	東京都港区虎ノ門 2-10-4 オークラプレステージタワー15階
設立	1981年4月
株式	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：7088）
従業員数	約4,662名（エンジニア：4,340名、スタッフ：322名） ※2024年3月31日現在
事業内容	エンジニア派遣事業、エンジニア紹介事業
グループ会社	Cognavi India Private Limited

<Cognavi Indiaについて>

2023年6月にAI（人工知能）マッチング技術を活用したインドにおける新卒学生の就職活動を支援するサービス「Cognavi」を自社開発、オープンしました。現在インドでは、就職を希望する学生と採用を希望する企業との橋渡しを大学の就職課が行っており、インドの新卒学生は限られた情報の中で、就職を決めるという重要な選択を迫られています。コグナビインディアではその点に着目し、「Cognavi」を通じてインドの新卒学生と現地の企業を結ぶ就活インフラになることを目指しています。

会社名	Cognavi India Private Limited
Managing Director	Varun Modgil
所在地	M01, ClayWorks Opus 3rd Floor W 76, Door 1, Adarsh Opus, Campbell Road, Austin Town, Bengaluru, Karnataka, India
設立	2022年10月
従業員数	60名 ※2024年3月31日現在
事業内容	インド新卒向け就職支援サービスの運営、HR テックサービスの開発運営

以上

■本件に関するお問い合わせ

株式会社フォーラムエンジニアリング 広報・PR事務局（株式会社井之上パブリックリレーションズ内）

担当：菊池・岡崎

E-mail：forumengineering@inoue-pr.com